

船橋市視聴覚センター廃止に伴い移管された事務事業について

令和3年度に市の視聴覚センターが廃止となったことに伴い、これまで視聴覚センターが所管していた業務のうち「21世紀のデジタルプロジェクト」が郷土資料館の所管になりました。

21世紀デジタルプロジェクトとは

視聴覚センターが平成12年（2000年）に開始した、過去に撮影された写真や映像が劣化・亡失していく現状をふまえ、市民からの提供写真や市の保有する写真・映像をデジタル化して保存・活用する事業です。

市民から提供された市内各地の写真に加え、株式会社ららぽーと（当時）から提供された船橋ヘルスセンターの写真や昭和初期の船橋市内の様子を撮影した9.5ミリフィルム等、数多くの貴重な視聴覚資料を含んでいます。引き続き資料収取を継続するとともに郷土資料館の所蔵する視聴覚資料と併せて引き続き活用をしてまいります。

なお、9.5ミリフィルムの映像は視聴覚センターが編集した映像作品「昭和初期ふなばしのスケッチ」として、ふなばし生涯学習チャンネルにて公開しています。